

# 第27回 全国街路事業コンクール

# 特別賞

## 旭川市土木部

## 旭川圏都市計画道路 3・3・14号 昭和通整備事業

都市名	北海道旭川市	事業主体	旭川市
事業概要	<p>昭和通は神楽地区の国道237号を起点に、旭川市中心市街地を経由し、国道40号線を結ぶ幹線街路である。神楽地区と旭川中心部は、一級河川忠別川やJR軌道により南北に分断されており、既存の忠別橋や新神楽橋周辺においては交通渋滞が発生していたため、両地区のアクセス性の向上が求められていた。</p> <p>本事業では、渋滞していた忠別橋、新神楽橋に並行して新設橋梁であるクリスタル橋を整備することで、交通の分散化が図られ、移動距離短縮によるアクセス性の向上が実現した。また、昭和通を利用した新規バスルート開設による利便性の向上や旭川周辺区画整理事業等との連携による中心市街地の一体的な発展が図られるなどの事業効果が発揮された。</p> <p>○事業延長：790m(橋梁部延長191m)      ○幅員：30m(橋梁部26.5m) ○事業費：約38億円                              ○事業期間：平成17年度～平成25年度</p>		
表彰理由	<p>旭川駅鉄道高架事業と連携してクリスタル橋を整備したことで、南北に分断された中心市街地と神楽地区とのアクセス性が向上し、神楽地区に集約されている文化芸術施設の利用者が増加するなど、街の一体化が図られた点が高く評価された。</p> <p>また、隣接する平成23年に開通した氷点橋と姉妹橋であることを印象づけるためPC橋のラーメン構造形式とし、桁の側面を斜めにするにより、都市的で洗練されたシャープなフォルムを採用したことも評価された。</p>		

